

インド、主要株式指数が最高値を更新

情報提供資料 2019年11月5日

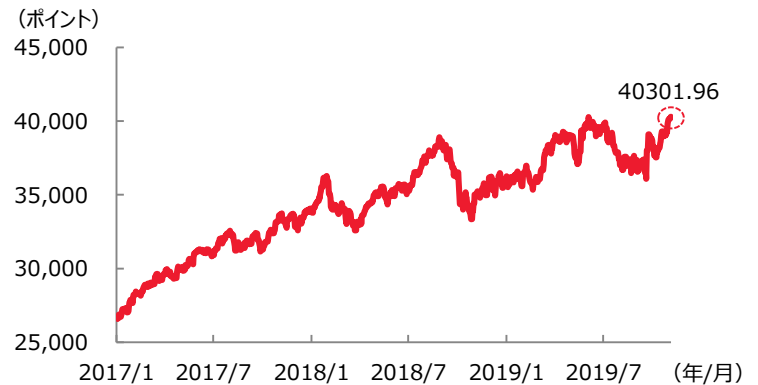
11月4日のインド株式市場は、7-9月期の企業決算を好感する見方が続いたほか、米中の貿易協議で早期の合意署名への期待が支援材料となって上昇しました。主要株式指数であるSENSEX指数は終値ベースで過去最高値を更新しました。今年6月からの株式市場の推移と今後の見通しについてご説明します。

SENSEX指数は6月初旬の過去最高値更新の後、調整局面を経て再び最高値更新

- インド株式市場では、2019年5月下旬の下院総選挙でのモディ首相率いるインド人民党（BJP）の圧勝を受けて、モディ政権2期目における、さらなる改革推進期待を背景に主要株式指数であるSENSEX指数は5月下旬から6月初旬にかけて過去最高値の更新を続けました。6月3日に40,267.62ポイントをつけた後、その後は利益確定売りに押される展開となりました。
- 自動車販売が前年割れとなる状況が続くなど、景気の減速感が強まる中で、7月5日発表の第2期モディ政権の最初の国家予算案で、景気支援策が盛り込まれるとの期待が高まりました。しかし、実際に発表された予算案には期待された景気支援策が盛り込まれず、むしろ超富裕層への増税や、自社株買いへの課税などが盛り込まれたことが嫌気されて株式市場は下げ足を速めました。
- 8月前半は景気支援策への期待が市場の下支えとなりました。下旬に入り、実際に支援策が相次いで発表されましたが、冷え切った投資家心理を反転させるには至らず、株式市場は9月も一進一退の状況となりました。しかし、9月20日に予想されていなかった大型の法人税減税の発表を受けて株式市場は急騰し、SENSEX指数は24日までの3営業日で8%を超える上昇率となりました。
- 10月初旬には、パンジャブ & マハラシュトラ協同組合銀行の不正融資疑惑に対する懸念や、7-9月期の企業決算発表を前にした警戒感から再び調整しましたが、決算の内容が悪くないとの見方を背景に、10月中旬以降は力強い上昇を示し、11月4日にSENSEX指数は、約5か月ぶりの過去最高値更新となりました。
- 7-9月期の決算発表では、国営銀行最大手のインドステート銀行が、前年同期比+219%（単独）の増益となって市場予想も上回りました。また、石油化学を中心に小売や通信事業なども手掛けるコングロマリットのリライアンス・インダストリーズは前年同期比+18%（連結）の増益となり、市場予想を上回りました。

【SENSEX指数の推移】

(2017年1月1日～2019年11月4日)



出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

今後の見通し

- 2019年4-6月期の実質GDP成長率は前年同期比で+5.0%と、直近のピークとなった2018年1-3月期（同+8.1%）以降、景気の減速感が強まっており、発表頻度の高い直近の経済指標には、まだ景気回復の明らかな兆候は現れていません。
- ただし、インド準備銀行（中央銀行、RBI）は、2019年に入って5回連続で合計1.35%となる利下げを行っており、利下げの効果は時間を置いて現れてくると見られます。9月20日に発表された大型の法人税減税を受けて、一部の自動車メーカーでは自動車価格を引き下げる対応も見られ、需要喚起に幾分寄与したものと見られます。7-9月期の決算発表では、新しい税率を適用する動きが一部に見られ、税引き後純利益が市場予想を上回る一因となるケースも見られています。
- 今後はRBIの利下げや政府の景気支援策を受けて、実際に国内の景気回復が見られるかどうか、注目されます。足元は米中の貿易協議の進展への期待感も投資家心理にプラスに作用していると考えられますが、外部環境の変化によってもインド株式市場は影響を受けると見られることから、引き続き外的要因には注意が必要と見られます。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供している目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

191105 (04)